

後輩へのメッセージ

LOHASタウン実現プロジェクト

本科目は、学生自身が主体となり目標に向けて企画し、実行に移していく科目です。言い換えれば、社会人になり働いていることを体験できる科目と言えます。本科目開始当時は、初めて経験する学生主体という授業形式に慣れず、具体的な提案や会議の進行がうまくできませんでした。しかし、先生方やTAの方にアドバイスを頂き、履修生の仲間と支え合うことで、1年間を通して充実した活動を行なうことができました。私は本科目を通じて、チームで一つの目標に到達する難しさを学ぶことができました。この1年間での経験は、今後の自分の人生に必ず活きるものであると確信しています。プロジェクト科目の履修を考えている方は、必ず生涯役立つ経験ができるので、是非履修してみてください。

子供が遊びながら遊び学べる 知育玩具の企画立案

プロジェクト科目を履修した感想を問われたら、私は一言目に「大変だった」と答えます。しかし、もしプロジェクト科目を履修しようか悩んでいる人がいたら、「受けてみなよ」と言うとも思います。この科目は、本当に普通の講義とは違います。メンバーが積極的に関わっていかなければ授業は進まないし、授業の時間外にも多くのことを考えなくてはなりません。私たちのプロジェクトで言えば、全員が玩具の企画を一生懸命考えていましたし、企画の参考にするために東京まで出かけることもありました。字面だけで見ると、大変そうとしか思わないかもしれませんが、ですが、この時間が楽しいんです。メンバーと試行錯誤していい案が思いついた時、東京で自分が考えもつかない玩具を見つけた時、自分が全く知らなかった技術に触れる時。どの瞬間も楽しくて、全力で取り組んだ一瞬一瞬が、自分の自信になりました。なので、プロジェクト科目に少しでも興味を持ったのならぜひ履修してみてください。きっと一年後に大変だったと晴れやかに笑うことができると思います。

地域応援プロジェクト ～同志社から、スポーツの力で恩返し～

私は1年間のプロジェクト科目を通して本当にたくさんのことを学びました。特にメンバーの意識、やる気を同じ高さにする難しさを学んだように思います。1つのことを為すためには全員の力が必要です。1人に頼りすぎてもいけないし、1人が抱え込みすぎてもいけない、リーダーとしてその分配が上手くできたかと言われると力不足だったのかもかもしれません。しかし、それでも1年間ついてきてくれたメンバーには感謝してもしきれませんし、「仲間」こそが私がプロジェクト科目で得た最も大きな財産だと胸を張って言うことができます。来年からも同志社大学の皆さんがプロジェクト科目を通して素晴らしいエンを作っていただくことを期待しています。ありがとうございました。

フォーミュラカーと共に成長しよう

公道を走れるような車を学生が作り上げるということは一見不可能なことのようには思えますが、このプロジェクトに参加して十分可能なことであると思えました。しかしながら、学生だけの力で私たちの車は出来ません。多くのスポンサー、OB・OG、大学関係者など多くの方々からの支援があって成立するものです。このとてつもなく多くの人が関係するプロジェクトを運営するためには支援に対する理解を得てもらうため論理的に話す論理的思考力、チーム全体の状況を把握するマネジメント能力、そして計画通りに物事が進まない場合でも柔軟に計画を変更できる対応力などここでは書ききることのできない様々な能力が必要とされます。この能力は座学ではおそらく習得することは難しいでしょう。だからこそ、座学では得ることのできない様々な能力を習得できるPBLに皆様も参加してほしいと思います！

テーマパークの利用者満足度向上に関する企画立案プロジェクト

プロジェクト科目を履修するにあたって、私が大切だと思うことは3つあります。まず1つ目は自ら行動すること。この科目は通常の授業と違って、自分たちで考え、企画する授業です。自分が率先して発言し、行動しないと、この授業は受けている意味がないくらいです。2つ目は諦めないことです。いろんな場面で壁にぶつかってしまうことがたくさんあります。ですが、どんな時も目標を目指して、いろんな手段を使って頑張ることで、必ずうまくいきます。最後は相手を思いやることです。履修生、先生、企業の方、協力してくれる方々の感謝の気持ちを忘れずに全員が気持ちよくすべての授業を進めていくべきだと感じました。来期も精一杯頑張ってさらに良い成果を残して欲しいと思います。